

山口県山口市方言の否定の表現

添田 建治郎, 時見 隆一

はじめに

- (1) 調査対象地：山口市は山口県の中央部やや瀬戸内海寄りに位置する。老年層話者重枝ヒサヨ氏の生育した平井は、その山口市の市街地に近く農村地帯だったが、山口大学のこの地への統合移転に伴い、近年人口の増加など都市化が進んでいる。若年層話者の原文映氏は市内中心部域の生え抜きである。
- (2) 調査年月日：1995年1月14日午後 1時30分～ 3時00分（原文映）
1995年2月 1日午前 9時15分～11時30分（重枝ヒサヨ）
- (3) 話者：重枝ヒサヨ氏（女） 1919（証8）年 2月15日生（75歳）無職
原文映氏（男） 1975（翻50）年 3月31日生（19歳）学生
- (4) 調査者・調査場所：添田建治郎，時見隆一。重枝氏の調査は氏の御自宅の客間で行った。原氏は山口大学人文学部の国語国文学研究室での調査による。
- (5) 調査方法・調査時の状況：統一調査票の調査項目に従って質問文を読み上げ、順次それに対しての内省を話者に求める方式をとった。
- (6) 表記方法：記述は、方言変容の視点から、老年層話者重枝氏と若年層の原氏とを比較しつつ記述した。老年層話者の内省を〈老〉若年層のそれを〈若〉で示した。調査の場で調査票を提示し、各項の方言の予想語形が下段に示してある旨伝えたが、必要に応じて調査の途中でもそれを読み上げて注意を喚起した
アクセントはその高音部に傍線を施す方式によったが、*項の留意点の記述部分ではその記入を省略した。[næ:] [kæ:] と [nae] [kae] は聞こえの差が微妙であった。その表記は「ナエー」「カエー」のごとくに示した。

調査結果

I 動作・作用の否定表現

1. 行かない ○キョーワ ドコエモ イカンヨ。〈老〉 ○キョーワ ドコエモ
イカン。〈若〉
2. 降らない ①キョーワ アメガ フランヨー。/②キョーワ アメ フランヨ。〈老〉
○キョーワ アメワ フランヨ。〈若〉
3. 行きません ○キョーワ ドコエモ イカンヨー。〈老〉 ○キョーワ ドコエ
モ イカンチャ。〈若〉
4. 行きはしない ①キョーワ ドコエモ イカンヨー。/②キョーワ ドコエモ イ
キヤー センヨー。《誘導》〈老〉

*老年層話者は(②の方が一般だ。)

○キョーワ ドコエモ イキワ セン。〈若〉

5. いらっしゃらない ①センセーワ ドコエモ イッチャー ナイヨ。/②センセー
キョーワ ドコエモ オイデンヨ。〈老〉

*老年層話者は(②は親しい人に対して言う。)

○センセーワ キョー ドコエモ イッチャー ナイ。〈若〉

6. 行かなかった ①キョーワ ドコエモ イカンジャッタヨ。/②キョーワ ドコエ
モ イカザッタヨ。/③キョーワ ドコエモ イカダッタヨ。/④キョーワ ドコ
エモ イカンダッタヨ。〈老〉

*老年層話者は(②と③は両用するが、一般には③の「イカダッタヨ」だが「イカナ
ンダヨ」も使いそう。) ②, ③, ④は例示された諸例からの選択。

○キョーワ ドコエモ イカンカッタ。〈若〉

7. 行きはしなかった ①キョーワ ドコエモ イキヤー センジャッタヨ。/②キョ
ーワ ドコエモ イキヤー セジャッタヨ。〈老〉

*老年層話者は(①と②は両用するが、一般には①の「イキヤー センジャッタヨ」
の方を使う。そのほか「イキヤー セダッタ」もある。)

○キョーワ ドコエモ イキヤー センカッタ。〈若〉

8. 行くまい ○キョーワ アメガ フリソーナカラ ドコエモ イクマイ。〈老〉
○キョーワ ドコエモ イクマイ。〈若〉

9. 出まい ○キョーワ アメガ フリソージャカラ ドコエモ デマイ。〈老〉
○キョーワ ドコエモ デマイ。〈若〉

*〈若年層話者の「ドコエモ」のアクセントには、「ドコエモ」もあった。〉

10. すまい ①キョーワ ナニモ センヨ。/②キョーワ ナンニモ センヨ。〈老〉

*老年層話者は(②の方がより自然な言い方である。) 「すまい」に相当する表現
形は採れなかった。

①キョーワ ナニモ セン。/②キョーワ ナニモ シマイ。〈若〉

11. 降らないだろう ○キョーワ オーカタ アメア フランジャローヨ。〈老〉
○キョーワ タブン アメワ フランジャロー。〈若〉

12. 降るにちがいない ①アスワ アメガ マチガイ ナイ フルジャロー。/②アシ
タア オーカタ アメガ フルジャロー。/③アシタア タブン アメガ フルジ
ャロー。〈老〉 ○アシタア キット アメガ フルジャロー。〈若〉

13. 来ない ①キョーワ ダレモ コンヨ。/②キョーワ ダレモ キチャー ナイヨ。
〈老〉

*〈老年層話者では、軽い敬意の含まれる②が一般的に用いられる。〉

○キョーワ ダレモ コン。〈若〉

14. 来はしない ①キョーワ ダレモ コンヨ。／②キョーワ ダレモ キャー センヨ。《誘導》〈老〉

*老年層話者は(②はあまり言わないし言いにくい。60歳代の人が口にする。)

①キョーワ ダレモ コンチャ。／②キョーワ ダレモ クリャー セン。〈若〉

15. 来なかった ①キョーワ ダレモ コンジャッタヨ。／②キョーワ ダレモ コダッタヨ。《誘導》／③キョーワ ダレモ キチャー ナカッタヨ。〈老〉

*老年層話者は(②は「自分の夫などが来なかった」時、③は「身内以外の人がか来なかった」時に使う。) 〈③の表現には軽い敬意が含まれることによる。〉

○キョーワ ダレモ コンカッタ〈若〉

16. 見ない ○キョーワ ダレモ ミンジャッタヨ。〈老〉

*老年層話者は(五段活用形「ミランヨ」はよそから入った言葉として聞いたことはある。)

○キョーワ ダレモ ミン。〈若〉

17. 居ない ○キョーワ ダレモ オランヨ。〈老〉 ○キョーワ ダレモ オラン。〈若〉

18. 行かずに ○キョーワ ドコエモ イカンデ ウチニ オルヨ。〈老〉

*老年層話者は(「イカンズクニ」「イカンコーニ」とも言わない。)

○キョーワ ドコエモ イカンデ ウチニ オル。〈若〉

19. 行かなくても ○ワザワザ イカンデモ ヨカローノニ。〈老〉 ○ワザワザ イカンデモ エー。〈若〉

20. 行かなければ ○ワザワザ イカンニャー ヨカッタ。〈老〉

*老年層話者は(「アネーナ コトナラ」をつけて自分の気持ちを強調するのが一般である。「イカネバ」形を使うのは堅いていねいな表現。「イカナケリャー ヨカッタ」も言うが稀である。)

○ワザワザ イカンカッタラ ヨカッタ。〈若〉

21. 行かねば ○アシタワ ドネーシテモ イカンニャー ナラン。〈老〉

*老年層話者は(祖母は「イカザー ナルマー」「ソリャー ギリガ スムマーデ イカザー ナルマーデヨ」「イカンニャー ナルマーデ」などと言っていた。)

○アス ドーシテモ イカンニャー イケン。〈若〉

22. 行かねばならない

*老年層話者は(「イカンニャー ナルマーデー」「イカンニャー ナラン」と言う。前者の方が古い。) 若年層話者は(該当する表現がない。)

23. ～ズ

*老年層話者は(使わない。)

24. ～行きもせず、～来もしない ○コッチカラワ イキモ セン アッチカラモ キ

モ セン。〈老〉 ○コチラカラ イキモ センシ ムコーカラ キモ セン。
〈若〉

25. 行くか行かないかわからない ①アシタモ イクヤラ イカンヤラ ワカリヤ
センニイネー。／②アシタア イクヤラ イカンヤラ ワカリモ センネ。／③ア
シタア イクヤラ イカンヤラ ワカラニイネー。／④アシタア イクヤラ イ
カンヤラ ドネーカ ワカラデネー。〈老〉 ○アシタモ イクカ イカンカ
ワカラニ。〈若〉

II 存在・状態・判断の否定表現

26. 無い ○コレシキヤ ナエーヨ。〈老〉 ○コレダケシカ ナイ。〈若〉
27. 無い ①コトシーミタイナ ヨーナ アツイ トシワ ナエーネー。／②コトシノ
ヨーナ アツイ トシワ ナエーネー。〈老〉 ○コトシノ ヨーニ アツイ
トシワ ナイヨネ。〈若〉
28. ありはしない ○コトシノ {①ヨーナ／②ヨーニ} アツイ トシワ メッタニ
アリヤ セン。〈老〉 ○コトシノ ヨーニ アツイ トシワ アリワ セン。
〈若〉
29. 無かった ○コトシノ ヨーニ アツイ トシワ ナカッタネー。〈老〉 ○コ
トシノ ヨーニ アツイ トシワ ナカッタネ。〈若〉
30. ありはしなかった ○コトシノ ヨーニ アツイ トシワ アリヤ セダッタネ。
〈老〉 ○コトシノ ヨーニ アツイ トシワ アリワ センカッタ。〈若〉
31. 無いだらう ○コトシノ ヨーナ アツイ トシワ アリヤ センジャロー。〈
老〉 ○コトシノ ヨーニ アツイ トシワ モー ナイヤロー。〈若〉
32. 無ければ ○コネーナ アツイ トシ ナケリヤ エーソニネ。〈老〉 ○ア
ツイ ナツナンカ ナカッタラ エーノニ。〈若〉
33. 暑くない ○キョーワ アンマリ アツ ナイネ。《誘導》〈老〉 ○キョーワ
アマリ アツ ナイネ。〈若〉
- * 〈若年層は最初に非音便形「アツク」を答えた、東京共通語形の習得と解される。〉
34. 暑くはない ○キョーア アンマリ アツ ノーテ エーネー。〈老〉 ○キ
ョーワ アマリ アツワ ナイ。〈若〉
- * 〈若年層は最初に非音便形「アツク」を答えた、東京共通語形の習得と解される。〉
35. 暑くなかった ○キョーワ アンマリ アツ ナカッタネ。〈老〉 ○キョーワ
アマリ アツ ナカッタネ。〈若〉
36. 暑くはなかった ○アツワ ナカッタ。〈老〉 ○キョーワ アマリ アツ
ワ ナカッタ。〈若〉
37. 暑くないだらう ○アシタモ アツ ナエージャローネー。〈老〉 ①アシタモ

- アツク ナイジャロー。／②アシタモ アツー ナイヤロー。〈若〉
38. 涼しくない ○キョーワ アンマリ スズシュー ナェーネー。〈老〉 ○キョーワ アンマリ スズシュー ナイネー。〈若〉

*〈若年層は最初に非音便形の「スズシク」を答えた、東京共通語形の習得と解される。〉

39. にぎやかでない ○アンマリ ニギヤカジャ ナイネ。〈老〉 ○アンマリ ニギヤカジャー ナイ。〈若〉

*老年層、若年層話者とも（一般に「ジャ」を使い「ニ」は言わない。）

40. にぎやかではない ○アンマリ ニギヤカジャ ナイネー。〈老〉 ○アンマリ ニギヤカジャー ナイチャ。〈若〉

*〈若年層話者の文末の「チャ」には強調の意が込められている。〉

41. にぎやかでなかった ○アンマリ ニギヤカジャー ナカッタネ。〈老〉 ○アンマリ ニギヤカジャ {①ナカッタヨ。／②ナカッタ。} 〈若〉

*老年層、若年層話者とも（39同様、「ジャ」を使い「ニ」は言わない。）

42. にぎやかではなかった ○アンマリ ニギヤカジャー ナカッタ。〈老〉 ○アンマリ ニギヤカジャー ナカッタ。〈若〉

43. にぎやかではなからう ○マエノ ヨーニャー ニギヤカジャ ナェージャロー。〈老〉 ○モー イゼンノ ヨーニ ニギヤカジャー ナイジャロー。〈若〉

44. 花ではない ○アリー ハナジャー ナェー。〈老〉 ○アレワ ハナジャー ナイ。〈若〉

III 特定の慣用句による否定（不可・禁止）表現

45. だめだ（不可） ○ソネナ コト ナンベン ヤッタッテ ツマリャー セン。〈老〉 ○ソナ コトジャー イクラ ヤッテモ ダメジャ。〈若〉

46. だめな（不可） ①アノ シトア ツマラン ヒトジャーネー。／②アイツワ ツマラン ヤツジャーネー。〈老〉

*老年層話者は（「モトーラン ヤツジャ」も聞く。②が男性のことを言う場合の表現。）

○アイツワ ツマラン ヤツジャ。〈若〉

*〈若年層は最初は「ヤツダ」のように東京共通語の指定辞「ダ」を答えた。〉

47. つまらない（不可） ○ソネーナ クダラン コトオ ユーナ。〈老〉

*老年層話者は（「モトーラン コトオ」も聞く。）

○ベンナ コト ユーナ。〈若〉

48. いけない（禁止） ①ソナ トコエ イッチャー ツマランヨ。／②ソナ トコエ イッたら ダメ ダメ。／③ソナ トコロエ イッチャー ナランヨ。《

誘導》〈老〉

* 老年層話者は（「イッチャー イケン」も使う。）

○ソナ トコロエ イッチャ イケン。〈若〉

49. 行かれん（禁止）

* 老年層話者は（禁止の意で「イカレン」「イカレンヨ」も言いそうだが、一般には「イッチャーイケン」を用いる。） 若年層話者は（「イカレン」は使わない。）

50. 行くな（禁止） ○ソナ トコロエ イッチャー イケン。〈老〉 ○ソナ トコロエ イクナ。〈若〉

51. するな（不可） ①イタズラオ {①セルナ。/②スルナ。}/②ソナ ワンバク シチャ イケン。〈老〉 ○イタズラオ {①シチャ イケン。/②スルナ。} 〈若〉

* 若年層の②は例示した諸例の中からの選択。

52. 行くもんじゃない ①ソナ トコロエ イッチャー イケン。/②ソナ トコロエ イクモンジャ ナイヨ。《誘導》〈老〉 ○ソナ トコロエ イクモンジャ ナイ。〈若〉

53. たまらない ①キョーワ アツテ タマランネー。/②キョーワ ナンデモ アツテ ヤレンネー。《誘導》〈老〉 ①キョーワ アツテ タマランネ。/②キョーワ アツテ イケン。〈若〉

* 〈老年層、若年層話者とも一般に②の方を用いる。〉 若年層の②は例示した諸例の中からの選択。

54. しかたがない ○アメガ ヤムノオ マッコットタッテ シヨガ ナイ。〈老〉 ①アメガ ヤムノオ マッコットテモ シカタ ナイ。/②アメガ ヤムノオ マッコットテモ シヨガ ナイ。〈若〉

55. 楽ではない ○トクマデ アルクノア ラクジャー ナエー。〈老〉 ○トクマデ アルクノワ ラクジャー ナイ。〈若〉

56. 歩きたくない ○エンボーマデ アルキトー ナエー。〈老〉 ○トクマデ アルキトー ナイ。〈若〉

57. 大丈夫だ ○ソナーナ コトー シンバイ セーデモ {①セワー ナイヨ。《誘導》/②ダイジョーブイネ。} 〈老〉

* 〈老年層話者には「センデモ」もある。また、①より②の方を今はよく言う〉

○シンバイ シナクテモ ダイジョーブッチャ。〈若〉

* 〈若年層話者の「ダイジョーブッチャ」の「ブ」の高音は念押しによる卓立〉

IV 否定の応答表現

58. いや ○イーヤ フラダッタヨ。〈老〉 ○イーヤ フランカッタ。〈若〉

59. いや（強い否定）

*〈58に同じ。老年層は「イーニャ」、若年層は「イーヤ」も言う〉

60. いいえ ○イーエ フリャー シマセンデシタヨ。〈老〉 ○イーエ フリマセ
ンデシタ。〈若〉

61. いや（否定問いかけに対する応答）

降った場合 ○イーヤ フッタヨ。〈老〉 ○ウン フッタヨ。〈若〉

降らなかった場合 ○ウン フラダッタヨ。〈老〉 ○イーヤ フランカッタ。
〈若〉

62. どういたしまして ○イーエネー。〈老〉 ○イーエ ドーイタシマシテ。〈若〉

V 不可能の表現

63. できない ①ソーンナ コター ワシャ デキンヨ。／②ソナ コター ヨー
センニイネ。／③ソナ コター ワタシャ ヨー センヨ。〈老〉

*老年層話者は（②、③の方を一般に言う。）

①ソナ コトワ ワタシワ デキン。／②ソナ コトワ ワタシワ ヨー セ
ン。／③ソナ コトワ ワタシワ ヨー ヤラン。〈若〉

*若年層では（②の表現は、能力あるけど敢えて避けるときに使う。）

対応する可能表現 ①ソリャー エーヨ。／②ソーンナ コトナラ ワタシャ
デキルヨ。／③ソレナリャ ワタシモ デキルヨ。〈老〉

*老年層話者は（①が自然。）

①ソレワ ヤレルヨ。／②ソレジャッタラ デキルヨ。〈若〉

64. 読むことができない（状況） ○ヨマレンヨ。〈老〉 ○クライノデ シンブン
オ ヨメン。〈若〉

対応する可能表現 ①ヨマレルヨ。／②ヨメルヨ。〈老〉 ①コレナラ ナン
トカ ヨメル。／②コレナラ ヨマレルネ。

*若年層は（①を普通言う。）

65. 読むことができない（能力） ①ヨマレンヨ。／②ヨメンヨ。〈老〉 ①シンブ
ンオ ヨメナイ。／②シンブンオ ヨメンジャロー。〈若〉

対応する可能表現 ①ヨマレルヨ。／②ヨメルヨ。〈老〉 ①ヨメルヨ。／②
ヨマレルヨ。

*若年層話者は（①を普通言う。）

66. 出られない（心理的状況） ○ハデナ モン キチャー {①デラリャー セン。
／②デラレン。} 〈老〉 ○コンナ ハデナ フクオ キテワ マチエ デラレ
ン。〈若〉

67. 食べられない ○コノ キノコワ タベラリャー センヨ。〈老〉

*老年層話者は（「クエン」は男性の言い方である。）

○コア キノコウ クエン。〈若〉

68. 食べることができない ○イソガシューテ ヒルメシモ タベラリヤー セン。〈老〉

*老年層話者は（「クイダサン」は言わない。）

○イソガシクテ ヒルメシモ {①タベル コトガ デキン。/②タベラレン。《誘導》} 〈若〉

VI 反語・反発の強調表現

69. 知るものか ①ソнна コター ワタシャ シランヨ。/②ソнна コト シルカ
エーネ。〈老〉

*老年層話者は（「シルモンカ」もあるが、それは男性の物言い。）

○ソнна コトオ オレガ シルカイ。〈若〉

70. 誰が行くものか ○ソнна トコエ {①ダレモ イクモンカネ。/②ダレガ イ
クカネ。/③ダレモ イクカネ。} 〈老〉 ○ソнна トコロエ ダレガ イク
カッチャ。〈若〉

71. なんで行くか ○ソнна トコロエ ナンデ イカンニャ ナランノカ。〈老〉
○ソнна トコロエ ナンデ イカンニャ イケンノンカ。〈若〉

*〈若年層話者の文末に疑問の意を表すイントネーションがある。〉

72. なんで恥ずかしいものか ①ナンデ ハズカシカロー。/②ナンデ ハズカシ
ーンカネ。/③ナーニガ ハズカシーカネ。〈老〉 ○ナンデ ハズカシーンカ。
〈若〉

73. 行かないでおるものか ①イッチャル。/②イッチャルヨ。〈老〉 ○イク。〈
若〉

*〈若年層話者の文末に強調の意を表すイントネーションがある。〉

74. やれるか ○ソレガ オマエニ {①デキルモンカ。/②ヤレルモンカ。/③ヤレ
ルカ。/④ヤレルカイ。} 〈老〉 ○ソレガ オマエニ ヤレルンカ。〈若〉

*〈若年層話者の文末に疑問の意を表すイントネーションがある。〉

75. していらん ○ソннаニ イヤナラ ヤッチャーモラワン。〈老〉 ○ソннаニ
イヤナラ センデ エー。〈若〉

VII 特定の副詞の関わる否定表現（付、否定形式の見られる特定副詞）

76. 少しもはかどらない ○アツテ シゴトガ ヒトツツモ デキン。〈老〉 ○
アツテ シゴトガ {①スコシモ/②ゼンゼン} ハカドラン。〈若〉

*若年層話者は（②の方が自然。）

77. ぜんぜんできていない ○シゴトガ {①デーデン デキチョラン。/②サッパ
リ デキチョラン。/③イッコモ デキチョラ セン。《誘導》} 〈老〉 ○シ
ゴトガ ゼンゼン デキチョランネ。〈若〉

*老年層話者は(③はあまり言わず、老年層でも若い方の話者が口にする。)

78. いっこうに降らない ○アメガ ヒトツツモ フラン。〈老〉

*老年層話者は(「イッコニ」は改まった言い方である。)

○アメガ ゼンゼン フラン。〈若〉

79. あまり降らない ○コトシモ アメガ アンマリ フランネ。〈老〉 ○コトシ
モ アメガ アンマリ フラン。〈若〉

80. (予想外に)たくさん ①イモガ ゴッポー デキタデノ。/②マー コトシア
イモガ ドヒョーシモ ナイ デキタヨ。〈老〉 {①イッバイ/②ギョーサン
《誘導》/③ミタ コト ナイホド《誘導》} トレタ。〈若〉

VIII その他否定形式の関わる諸表現

81. いいではないか ○ワザワザ イカンデモ エージャ ナエーカネ。〈老〉 ○
ワザワザ イカンデモ エージャー。〈若〉

82. いいのではないか ○ワザワザ イカンデモ エージャ ナエーカネ。〈老〉

○ワザワザ イカンデモ エーノンジャ ナイ。〈若〉

*老年層、若年層とも(「エーノント チャウカ」は言わない。)

83. いいかもしれない ○ワザワザ イカンデモ {①エージャ ナイカネ。/②エー
カモ シレン。《誘導》} 〈老〉 ○ワザワザ イカンデモ エーカモ シレン。
〈若〉

84. 行かないか ○イッショニ {①イカンカネ。/②イコーイネ。/③イコージャ
ナイカネ。} 〈老〉

*老年層話者は(①は確信がない時の物言い、②は最も雑な言い方、③は勧誘の意で
言う。) 〈①には、その末尾に確信のなさを映した上昇調のイントネーションが
伴う。〉

○イッショニ イカン。〈若〉

*〈若年層話者の「イカン」の末尾には、確信のなさを映した上昇調のイントネー
ションが伴う。〉

85. くないか ○コレオ {①モッチャモラーレンカネ。/②モッテオクレーノ。/
③モッテクレンカネ。} 〈老〉 ○コレ モッチョッテクレン。〈若〉

*〈若年層話者の「クレン」の末尾には、誘いの気持ちを映した上昇調のイントネー
ションが伴う。〉

86. くれませんか ①コレオ モッテモラエンジャローカ。/②コレオ モッテオクレ

ンカ。《誘導》／③スマンガ コレオ モッテモラエンカネ。〈老〉

*老年層話者は(②は粗い言い方で自分自身はあまり使わない。)

○コレオ モッチョッテクレマセンカ。〈若〉

87. 下さいませんか ○コレオ モッテモラエンデショーカ。〈老〉

○コレオ モッテクダサイマセンカ。〈若〉

88. 行かないと(勸奨) ○ハヨ ハヨ イカンニャー。〈老〉 ○ハヤク イカンニャー。〈若〉

まとめ

世代差が目立つ。打ち消し過去の表現「行かなかった」「来なかった」を見ると、「～ザッタ」「～ダッタ」が老年層でも最も古く、「～ンジャッタ」がこれに次ぐ。若年層の「～ンカッタ」が新しい。指定の助辞では「ジャ」形の一方に摩擦性を弱めた「ヤ」形も顔を出し、条件節「～ネバ」では「イカンニャー」のような拗音化形「～ニャ」が古く「～ンカッタラ」に転じている。「～デワ」「～テワ」も拗音化形「ニギヤカジャナイ」「イッチャーナイ」のように「～ジャ」「～チャ」形をとる。

不可能の表現に関しては、状況不可能と能力不可能の使い分けはない。

否定の問かけも老年層と若年層では逆転している。肯定の返事がそれぞれ「イヤ」「ウン」、否定の返事が「ウン」「イーヤ」である。

世代差は副詞形にも見られ、「オーカタ」「マチガイナイ」が若年層で「キット」に変わり、「ゴッポ」「ドヒョーシモナイ」も若年層で消滅している。補助動詞「～モラウ」も「～クレル」形になる。

(そえだけんじろう 山口大学人文学部)

(ときみりゅういち 山口大学大学院生)